



海外留学したいけど
英語力が不安

0時間フライトの外国
APUへ留学してみませんか?

何か新しいことに
挑戦してみたい!

外国に
友達が欲しい

4年間で
卒業したい!



日本国内で留学、
APU(立命館アジア太平洋大学)
で経験してみよう!!

1 APUで学ぼう プログラム紹介

半年または1年間、APUでの授業の受講および単位を修得できるプログラムです。

派遣期間

- <経営学部以外>
- (1)後期セメスター
(2012年9月~2013年3月)
- <経営学部のみ>
- (1)後期セメスター
(2012年9月~2013年3月)
- (2)通年
(2012年9月~2013年9月)

単位認定

APUで修得した単位は原則、卒業に必要な単位として認定されます。(認定科目・分野は学部による)

費用

無料。(留学期間中も通常通り立命館大学に学費を納めることで参加できます)

奨学金

参加者対象の奨学金があります。

住居

APハウス(学生寮)を利用できます。寮費は、1ヶ月49,000円です。

応募資格

(1)法学部・経済学部・経営学部・産業社会学部・国際関係学部・文学部・スポーツ健康科学部・理工学部・生命科学部の所属で2・3回生および薬学部の所属で2~5回生の学生
(回生は2012年9月26日現在)

(2)応募者の回生に応じて以下の単位取得要件を満たすこと

- <2回生>
2011年度後期終了時点で32単位以上修得し、かつ、2011年度後期までの外国語科目を全科目とも修得していること。
- <3回生>
2011年度後期終了時点で64単位以上修得し、かつ、2011年度後期までの外国語科目を全科目とも修得していること。
- <薬学部>
4回生:<3回生>の条件に習得単位を32単位
5回生:<3回生>の条件に習得単位を64単位加算すること。

What's APU?

2000年に開学した、日本で初めての本格的な国際大学である立命館アジア太平洋大学(APU)。大分県別府市に位置し、学校法人立命館、大分県および別府市の協力のもと開学しました。世界124カ国・地域から約2,600名の留学生が集まり、教員も約半数が外国籍。「英語」と「日本語」の2言語を中心に多言語・多文化教育を展開しています。

(2011年5月1日付)	立命館アジア太平洋大学 (APU)	立命館大学
学生数	5,980名	36,485名
留學生数	2,692名	1,147名
留學生出身国数	81カ国・地域	34カ国・地域
学部・研究科	2学部・2研究科	13学部・14研究科

【衣笠】

4月24・26日(火・木) 12:15~12:55
清心館2F 527教室

【BKC】

4月25・27日(水・金) 12:15~12:55
フォレストハウス1F F102

各回、同じ内容です。

Join Us

ガイダンスに
参加しよう

Check Us

ホームページで
情報を得よう

立命館大学トップページ

学生生活・就職

[他学部・他大学の講義受講]

「APUで学ぶ」をクリック!!

<http://www.ritsumeai.ac.jp/life/apu/>

出願期間：5月7日(月)~5月25日(金) 17:00

A P U 留学経験者にきく！ A P U 留学の魅力とは・・・

宮本京介さん(法学部2回生 / 2011年度前期派遣)
中村彩乃さん(国際関係学部4回生 / 2010年度前期派遣)
白川愛子さん(国際関係学部3回生 / 2011年度前期派遣)
鈴木悠志さん(文学部3回生 / 2010年度後期派遣)
岡本彩季さん(文学部2回生国際インス / 2011年度前期派遣)

Q.なぜAPUに行ってみようかと？

鈴木さん
APUの学園祭「天空祭」を訪れた時に、APUの雰囲気が好きになって、機会があるなら学んでみたいと思っていました。海外留学にも興味を持っていたのですが、英語が苦手な海外に行くには不安があったんです。APUなら海外留学と似たような経験ができると感じたので参加を決めました。

中村さん
APUの観光学コースで学びたいと思ったのがきっかけです。それと、オーストラリアでの短期留学を終えて、日本の大学に少し物足りなさも感じていました。海外のような刺激を受けられるところでもう一度学びたいと思う反面、就職活動も控えていましたし、海外に行く余裕がなかったんです。海外のような雰囲気、学びたい事も学べる、しかも経済的にも負担が少ないということでAPUに行くことを決めました。

岡本さん
私は附属校出身で、高校生の頃からAPUへの交流学生プログラムのごことは知っていました。自分の視野を広げたいと思っていて、多文化の中での生活に憧れもあったのでぜひ参加してみたいと思っていました。

宮本さん
僕も附属校出身で、志望校を決める際、APUと立命館で迷っていました。その時、先生にすすめられたのがこのプログラムでした。APUは興味のある国際関係学や国際政治を勉強するには最適な環境だと思ったし、留学するほどの語学力もなかった。これからステップアップするためのファーストステップとしてAPUに行ってみようと思ったんです。

Q.実際に行ってみて、APUってどうでした？ このプログラムはどうでした？

宮本さん
日本の大学なのに、日本の大学っぽくない。海外っぽいけど海外じゃない。そんな空気がAPUの魅力だと思います。それと、APUの学生は物事の考え方や視点が斬新な人が多い。そこにも良さを感じました。

中村さん
国内なので、気軽に行けるというのが一番の魅力だと思います。

岡本さん
なんといっても多国籍というのが魅力。APUの大学案内を見て「本当にそんなに多国籍なの？」って思っていたけど、実際に行ってみて、「ほんまに多国籍や！小さな地球みたい！」って実感しました。

Q.APUと立命館の違いってありました？

岡本さん
いい意味で自由なんです。今まで「大学は4年で卒業しないとだめ」という固定観念にとらわれていたんですが、休学して留学する学生も少なくないんです。そういう道もあるんだな、と気づかされました。私も社会に出る前に世界を見たいなと感じるようになりました。

鈴木さん
APUから戻ってきてそのままオーストラリアで海外インターンシップに参加した友人がいたのですが、APUに行くと「何でも挑戦できる」とって意欲的になるんですね。固定観念にとられない人が多いから居心地も良い。

白川さん
「私はこうなりたい！」という明確な目標を持った学生が多いと感じました。

宮本さん
発展途上国から学びにきている国際学生の勉強に対する姿勢はすごい。大学院に進学したいとか、外交官になりたいという高い目標を持った人が多くてエネルギーを感じました。それと、APUの授業はとにかくグループワークが多い。講義が受身ではなくて参加型なんです。

中村さん
グループワーク、多いですよね。日本の大学とは異なる点だと思います。英語のレポートを国際学生と取り組んだんですが、量も多いし英語だし、とにかく大変でした。

岡本さん
国際学生に話しかけやすい雰囲気はありました。こっちでは留学生を見かけてもなかなか話しかける空気じゃないんですけど・・・。APハウス(学生寮)にはたくさんの国際学生が住んでいるので一緒にご飯をつくらせて楽しかったですね。それと、英語の授業が実践的で楽しかった。ネイティブの先生と話したり、PCを使ったり、「使える英語」を学べたと思います。おかげでこれからも英語を頑張るって学ぼうという気持ちになりました。特に日常で使える英語を身につけたいです。

Q.APUでの生活で印象に残っていることは？

岡本さん
マルチカルチュラルウィークですね。APUの多国籍文化を肌で感じることができました。私はコリアンウィークのお手伝いをさせてもらったのですが、本当に楽しかったです。

宮本さん
APハウス(学生寮)では年に一度「ワールドフェスティバル」(寮祭)が行われます。APハウスの各フロアで出し物をするのですが、多国籍の学生でひとつのものを作り上げた事はいい機会だったし、とても楽しかったです。もちろん感覚や文化の違いで大変なこともあったのですが、話し合ったり、説得したり・・・困難を乗り越えて作り上げたという達成感がありました。

Q.このプログラムに参加して自分自身に変化や成長はありましたか？

白川さん
日本人同士で過ごしていると言葉にしなくても通じることがありますよね？でも、母国語が違う国際学生と話していると、それが当たり前じゃないんだなと感じました。日本語でも英語でもいかにわかりやすく相手に伝えるかを考えるようになりました。

中村さん
多様な文化に一気に触れるので、常識にとらわれない考え方が身についたと思います。国際学生と仲良くなったり、いろんな世界を見たことで他国の事情を客観的に見られるようになったし、偏見もなくなりました。海外のニュースの見方も変わったなと思います。

鈴木さん
たしかに、海外のニュースを見ていても人ごととは思わなくなりしましたね。APUの学生に意識の差はありますが、ものすごく意識が高いから受けた刺激は大きいです。そのおかげで積極的になれたし、何事にもチャレンジしてみる前向きさが身についたと思います。こっちに戻ってからの子学生生活も変わりましたね。

岡本さん
「悩んでる時間は無駄だ」とって考えるようになりました。もともと私は優柔不断でなかなか決められないタイプなんです。国際学生って何でもはきはき言う人が多くて、仲良くなった韓国の学生に「悩んでる暇があればさっさと決めて行動したほうがいい」といつも言われていました。APUに行ったからこそ考え方も変わったと思います。

宮本さん
自分が興味をもっていた国際政治学についてはかなり勉強したと自負しています。英語開講科目をとってみて、自分の英語のレベルが足りないと感じました。また、国際戦略入門のTA(Teaching Assistant)をやっていたんですが、国際学生に日本語で説明しても理解してくれない場合は、英語で説明しないとイケない、これがまた難しい。思っている以上に勉強しないと英語力はつかないなと実感したし、これから頑張りたいと思っているところです。

中村さん
就職活動が目の前に迫っていたので、APUという日常とは異なる環境に身を置いて自分の考えをまとめたなと思っていました。実際、APUで聞いた講義の中で新しい考え方や視点を発見して、目を向ける方向性も変わった。おかげで就職活動でも自分の納得がいく結果を残せました。

Q.このプログラムに挑戦しようと考えている人に一言お願いします！

宮本さん
立命館での学生生活や学部での授業に物足りなさを感じている人はぜひAPUに行ってみようと思います。何かが変わります。僕の場合、政治学を学びたいと思っていたのですが、ここではその機会がなかった。本当にAPUに行ってみようと思ったと思っています。

岡本さん
APUに行くって色々な国や地域に友達ができます。私の場合、ミャンマー、シンガポール、韓国、中国、香港、ナイジェリア、バングラデシュ、インド・・・たくさんの友達ができました。こっちに戻ってからインターネットを通してつながっています。このつながりを今後も大切にしていきたいと思っています。

中村さん
自分の学部で学べないことを学べるのが魅力。視野を広げたい、物足りなさを感じている、世界を見たいという人はぜひこのプログラムに参加してみてください。気軽に行けるので、一歩踏み出してほしいです。絶対何か得るものがあります。

鈴木さん
留学したいけど英語力に不安がある人はぜひAPUに行ってみるといいと思います。実際、APUは日本語も通じますし、英語を使おうと思えば英語を使える環境。ステップアップになること間違いなしです。

白川さん
英語や第二言語を学ぶ上で悩んでいる人がいれば、APUでいい発見があると思います。こっちではなかなか英語を使う機会がありませんでしたが、APUでは使わないといけない場面ができてきます。「語学って机の上で勉強するんじゃないって、話してなんぼやな」と思うようになりましたし、語学を学ぶ上での壁がなくなりました。また、海外に友人を作ることができるのもAPUの良さ。少人数の講義をたくさんとれば友達ができやすいと思います。